

## 神戸新聞に載りました！

上野台中学校生徒会の活動をたくさんの人に知ってもらえたと思います。新聞に載ったことをきっかけに、もっと虹プロジェクトを広めていきたいです。

不申 戸 業新 月年 2017年(平成29年)7月14日 金曜日

### アサギマダラ舞う三田に

#### フジバカマの苗植樹

#### 上野台中生けやき台中を訪問



フジバカマで羽を休めるアサギマダラ=2016年9月、上野台中学校(同校提供)

季節ごとに長距離の移動を繰り返すチョウ「アサギマダラ」が羽を休める場所を三田市内に広げようと、上野台中学校(同市志手原)の生徒会メンバー6人がこのほど、けやき台中学校(同市けやき台2)を訪れ、同校の生徒と一緒に、アサギマダラが好む花「フジバカマ」の苗を植えた。

(山脇未菜美)

アサギマダラは黒と茶の縁取りに、水色のまだら模様の特徴。羽を広げた大きさは10センチほどで、春に沖縄方面から日本列島を北上し、秋になると東北地方から南下する。兵庫には9月ごろに飛来するという。

上野台中は2015年、アサギマダラが羽を休める場所を作る「虹プロジェクト」を企画。アサギマダラの雄が蜜を好んで吸うフジバカマの苗を京都府舞鶴市の中学校から分けてもらって校内に植えたところ、同年9月、初めて飛来した。

取り組みを広げようと、昨年は上野台中学校区内にある4小学校に苗を贈った。今年は、けやき台中とゆりのき台中(同市ゆりのき台2)、有馬富士共生セ

ンター(同市尼寺)の3カ所に苗を分けて植える。

上野台中の生徒は、けやき台中校内の斜面で、同校の生徒会メンバーとともに植栽。スコップで土をほぐして培養土を混ぜた後、上野台中で育てた約10鉢の苗36本を丁寧に植えた。

上野台中3年の上田幸歩さん(14)は「まだ実際にアサギマダラが飛んでいるのを見たことがないので、秋が楽しみ」と期待。けやき台中3年の福田大智さん(14)は「苗の育ち具合を報告し合って、交流を深めていきたい」と話した。



フジバカマの苗を植えていく生徒(けやき台中学校)

